

進行遅い乳頭がん9割

病院の 実力

九州・山口編

今回は「甲状腺がん」を取り上げる。甲状腺は、のど仏のすぐ下にある。チヨウが羽を広げたような形をしており、新陳代謝を調節するホルモンを作る。
がんができる、しこりで気づくこともあるが、多くの場合、自覚症状がない。進行がゆっくりな「乳頭がん」と呼ばれるタイプが大部分を占め

甲状腺がん

命に関わるリスクが低い場合は、手術をせずに定期的な超音波(エコー)検査で経過観察する選択肢もある。乳頭がんのうち、腫瘍が1センチ以下で転移がない場

全国屈指の手術症例数を誇るやました甲状腺病院(福岡市博多区)には、年間延べ約4万人の外來患者が訪れる。甲状腺に特化した病院は全国

的に少なく、九州ではわずかなしかない「アイソトープ治療」に対応した設備も備えている。山口や熊本のほか、離島か

治療の基本は手術だ。手術方法は、腫瘍の大きさや数、場所によって検討する。甲状腺の片側を取る「部分(腺葉)切除」、3分の2程度を切る「亜全摘」、両側を切除する「全摘」がある。全摘、亜全摘の場合は甲状腺機能が低下するため、術後は甲状腺ホルモン薬を飲み続ける必要がある。

甲状腺を全摘した後、再発の恐れがある場合などは、放射性ヨウ素を飲む「アイソト

アイソトープ治療も対応

「アイソトープ治療」がある。手術やアイソトープ治療をした後、再発・転移した場合などは、分子標的薬を検討する。近年、がんの増殖に関わる特定の遺伝子のみを狙い撃つタイプが登場している。甲状腺がんの中で、悪性度が高く進行が遅い「未分化がん」への有望な治療法としても注目される。分子標的薬の進歩で治療の選択肢が増えている。最適な治療を受けてほしい。

ら通院する患者もいるとい
い、佐藤伸也
院長(52)「写
真は「腫瘍
の状態のほ
か、病院へのアクセスのしやすさ、患者の心配の程度なども勘案し、経過観察も含めて治療方針を患者と一緒に選んでいる」と話す。
同病院では、2020年から良性疾患で内視鏡手術を開始し、21年からは甲状腺がんにも適応を拡大した。甲状腺がんは男性より女性の発症が圧倒的に多く、手術で首に傷痕が残ることを避けたい場合は、衣服で傷痕が隠れる腹部やわきから内視鏡を入れる手術を選ぶこともできる。
一方、内視鏡手術は、切開位置から甲状腺までの距離が長い、手術時間は通常の約2倍で、術後回復にも時間がかかる。病院のホームページでは、通常手術と内視鏡手術後のそれぞれの傷痕の写真を複数枚紹介している。
佐藤院長は「美容的な側面や体への負担などのメリットとデメリットを踏まえて、手術の手法を選択してほしい」と話している。

全国の調査結果は20日の「からだ」面に掲載しました。

病院の実力「甲状腺がん」 医療機関別2023年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	手術 (件)	分子標的薬治療の 患者数 (人)		
		部分 切除 (腺葉)	全摘・亜全摘	
山口県				
山口大	28	14	14	2
県立総合医療セ	17	15	2	3
福岡県				
やました甲状腺	348	210	138	0
北九州市立医療セ	34	13	21	4
久留米大	33	20	13	3
九州大	31	14	17	10
国・九州医療セ	22	14	8	5
産業医大	21	19	2	6
聖マリア	21	13	8	0
福岡大	12	9	3	2
小倉記念	12	9	3	1
済生会福岡総合	12	6	6	0
飯塚	8	6	2	1
北九州総合	7	6	1	0
福岡赤十字	6	2	4	0
浜の町	5	2	3	3
佐賀県				
小池	83	69	14	4
佐賀大	14	6	8	5
好生館	1	1	0	1
長崎県				
長崎大	32	25	7	22
佐世保市総合医療セ	21	14	7	0
長崎原爆	12	10	2	0
熊本県				
熊本大	68	34	34	5
宮崎県				
宮崎大	33	16	17	7
鹿児島県				
鹿児島大	45	26	19	10
なかのク	17	9	8	2
相良	16	15	1	3
鹿児島市立	5	3	2	2

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「ク」はクリニック。大分は回答なし。